

令和3年度認定

【計画名：世界遺産「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群を核とした文化観光推進地域計画】

①計画目標の達成状況

目標項目名(単位)	R3			R4			R5		R6		R7	
	目標	実績	達成率	目標	実績	達成率	目標	実績	目標	実績	目標	実績
来訪者数(世界遺産構成資産)(単位:人)	687,000	655,093	95%	765,000	749,632	98%	843,000		922,000		1,000,000	
来訪者数(文化観光拠点施設)(単位:人)	201,000	170,558	85%	232,000	245,231	106%	262,000		293,000		323,000	
外国人来訪者数(世界遺産構成資産)(単位:人)	1,400	—	—	2,800	806	29%	4,200		5,600		7,000	
外国人来訪者数(文化観光拠点施設)(単位:人)	410	—	—	820	263	32%	1,230		1,640		2,050	
延べ宿泊者数(単位:千人)	201	180	90%	290	集計中	—	428		437		446	
有料体験プログラム等参加者数(単位:千人)	600	909	152%	1,400	1,306	93%	2,500		3,400		4,000	
来訪者の満足度(単位:%)	82	90	110%	83	89	107%	84		85		86	

②計画目標の達成状況に関する分析・評価

<p>(分析)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症による影響が減少したことで、文化観光拠点施設での集客プログラム等が通常どおり実施できたことや、国内観光需要も追い風となり、文化観光拠点施設への来訪者数は目標値を上回った。世界遺産構成資産全体への来訪者数や有料プログラム等参加者数は目標には若干届かなかったが、9割以上は達成できた。また、来訪者の満足度は目標を達成した。 ・外国人の来訪者については、令和4年度前半については外国人観光客の規制が続いていたこともあり、目標値に届いていない。なお、延べ宿泊者数は現時点で集計中(秋頃までに各自治体で集計予定のため、その後に計画区域内の宿泊者数を集計)。 <p>(評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響が無くなっていく中で、全体を通じて目標値に近い数値を達成できている。また、来訪者の満足度は目標を達成しており、引き続き質を維持した来訪者サービスを提供していく必要がある。有料プログラム等参加者数は目標数の9割を達成しており、引き続き文化観光のコンテンツ造成を図り、さらなる参加者拡大を目指す。 ・一方で外国人来訪者については、上半期の外国人観光客規制の影響もあり、目標に対して3割程度の実績にとどまっている。インバウンド向けのPRやコンテンツ造成が必要である。

③計画で取り組んだ事業の進捗状況

事業番号	事業名	R3	R4	R5	R6	事業類型ごとの実績額
1-①	沖ノ島巨岩祭祀遺跡VR制作	上陸できてない沖ノ島を体験できるVRゴーグルを制作	文化観光拠点施設及びイベント等で活用			29.8百万
	沖ノ島島内を疑似的に巡る体感VRシステムの制作	—	デジタル技術を活用した沖ノ島島内を疑似散策できる体験展示ボックスを制作			
1-②	世界遺産体感展示等展示更新事業(宗像大社神宝館)	—	—			
1-③	世界遺産体感展示等展示更新事業(福津市歴史資料館)	—	—			
1-④	広域連携・周遊促進企画 全国古代の旅『ノリカムナカタ』	—	関東・西日本の計12施設の博物館・資料館の広域連携企画を実施			
1-⑤	静岡県富士山世界遺産センターとの連携事業	九州国立博物館にて静岡県富士山世界遺産センターと連携した特別展示を実施	事業1-④にて静岡県富士山世界遺産センターと連携			
1-⑥	宗像大社みあれ祭・秋季大祭を対象としたオンラインツアーの造成	—	インバウンド向けオンラインツアーを造成			
1-⑦	文化資源を活用した体験プログラム開発事業	—	—			
1-⑧	オンラインコンテンツ制作事業	—	1-⑥で実施			
1-⑨	ファミリー層に向けた教育コンテンツ開発事業	—	—			
1-⑩	観光ガイド(有料)による文化観光推進力の向上事業	—	世界遺産ガイドの育成及びガイドが案内する世界遺産体験プログラムを造成			
2-①	「みちびき沖ノ島」「むなかたアーカイブス」拡充事業	—	—			—
2-②	体験・滞在型商品等の造成・販売促進事業	—	—			
2-③	シェアサイクルによる周遊促進事業	—	—			
3-①	むなかたふくつ海と宝のスタンプ探し		世界遺産の構成資産、文化観光拠点施設、産直所等をめぐるラリープログラムの実施			3.3百万
3-②	文化資源をイメージしたミュージアムグッズ、土産品開発事業	—	—			
3-③	地域通貨を活用した地域活性化事業	—	—			

4-①	インバウンド向け誘客促進事業	—	—			
4-②	文化観光拠点施設のホームページ更新事業	3つの文化観光拠点施設の解説ページを新設	多言語による文化観光資源の現地解説案内WEBサイトの制作			3.4百万
4-③	若年層向け誘客促進事業	大学との共同プロジェクトにて、若年層向けプロモーション用の楽曲を制作	令和3年度の成果に対して2種の映像を制作、プロモーション映像として活用			
5-①	観光旅行の利便促進のためのサインPOP等設置事業	—	—			
各年度ごとの実績額→		8.4百万	28.1百万			36.5百万

④事業の進捗状況に関する分析・評価

<p>(分析)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業1-①については、上陸できない沖ノ島を体験できるVRゴーグルや疑似散策を体験できる展示ボックスを造成、拠点施設やイベントで活用。 ・事業1-④、⑤については、本遺産群との関りが深い関東・西日本の博物館や資料館と連携した企画で、都道府県を股にかけた広域での周遊促進を図っている。 ・事業1-⑥については、地元の有料ガイドを育成するとともに、ガイドが案内するオリジナルの世界遺産体験プログラムを造成。 ・事業3-①については、世界遺産の構成資産、文化観光拠点施設、産直所等をめぐるラリーを実施し、計画区域内への来訪や周遊を促進させた。 ・事業4-③については、若年層向けプロモーション用の映像及び楽曲を制作。若年層を中心とした、新たな層への価値発信を図っている。 <p>(評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度事業については、年度途中で計画変更を行っており、変更後の計画どおり概ね実施できた。 ・令和4年度事業についても、当初計画どおりに実施、完了している。造成したコンテンツ等の効果検証は引き続き行っていく。
--

⑤拠点施設の要件に関する取組状況

要件	文化観光拠点施設名	海の道むなかた館	福津市複合文化センター 歴史資料館	宗像大社神宝館
・文化資源の魅力に関する情報を適切に活用した解説・紹介		<ul style="list-style-type: none"> ・大型スクリーンにて遺産群の解説動画を公開 ・英韓中に対応した遺産群の解説コーナー ・国宝レプリカによる体験展示 ・VRゴーグルや体験展示ボックスによる体験展示 	<ul style="list-style-type: none"> ・多言語対応の解説動画を公開 ・新原・奴山古墳群の築造当時の墳丘石室の模型展示 ・新原・奴山古墳群の出土遺物の展示 	<ul style="list-style-type: none"> ・沖ノ島から出土した約8万点の奉獻品（すべて国宝指定）の管理及び一部展示
・情報通信技術の活用を考慮した適切な方法を用いた解説・紹介		<ul style="list-style-type: none"> ・拠点施設のホームページによる展示及びイベントプログラムの紹介 ・公式ホームページにおける拠点施設の紹介 ・多言語対応の世界遺産スマホガイドで施設を案内 		
・外国人観光旅客の来訪の状況に応じて、適切に外国語を用いた解説・紹介		<ul style="list-style-type: none"> ・英語ナレーションに対応した解説動画 ・英韓中に対応した遺産群の解説コーナー ・英韓中に対応した遺産群のマップ付きリーフレットの配布 		<ul style="list-style-type: none"> ・英韓中に対応した遺産群のマップ付きリーフレットの配布
・文化観光の推進に関する多様な関係者との連携体制の構築		<ul style="list-style-type: none"> ・世界遺産の構成資産が所在する自治体（福岡県・宗像市・福津市）及び宗像大社で構成される保存活用協議会と連携した事業推進 ・地域の観光協会及びDMOと連携した事業推進（地域計画の協議会において定期的に会議を開催） 		
・文化観光の推進に関する各種データの収集・整理・分析		<ul style="list-style-type: none"> ・施設における体験プログラムの参加者及び満足度等を調査 		
・文化観光の推進に関する事業の方針の策定及びKPIの設定・PDCAサイクルの確立		<ul style="list-style-type: none"> ・世界遺産の構成資産が所在する自治体（福岡県・宗像市・福津市）及び宗像大社で構成される保存活用協議会において、各文化観光拠点施設の管理者とともに、事業の進捗状況・成果・課題等を適宜共有した上で、改善策などを検討、次年度申請事業に反映している。 		

⑥観光関係者（DMOなど）からの評価

評価者	評価内容
一般社団法人 宗像観光協会 一般社団法人 ふくつ観光協会 一般社団法人 ひかりのみちDMO福津	<ul style="list-style-type: none"> ・宗像観光協会及びひかりのみちDMO福津は登録DMOを目指している段階もしくは登録DMOとなったばかりであり、十分な事業を行う予算や人員の確保、体制構築に努めているところであり、現時点では当初計画どおりの事業推進が困難となっている。そのため、世界遺産の保存活用の取組を担う「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群保存活用協議会」に対して、観光協会・DMOが将来的に運営できるような文化観光の新たなコンテンツ制作が期待されている。 ・上記の内容については、当地域計画の申請者が集まり協議する場にて、両団体より発言がされたものをまとめたものである。

⑦今後の改善の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・⑥に記載した状況を踏まえて、計画区域の観光協会が地域計画の計画期間後半及び終了後に自走化した事業を推進できるよう、世界遺産の保存活用の取組を担う「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群保存活用協議会」が文化観光の新たなコンテンツ制作を行った上で、制作したコンテンツの運営を将来的に一般社団法人宗像観光協会、一般社団法人ふくつ観光協会、一般社団法人ひかりのみちDMO福津に段階的に引き継いでいく体制づくりを図る。
